

「とちぎの伝統工芸品シンポジウム」実施計画書

1 趣旨及び目的

伝統工芸品は、県民の生活に根ざし受け継がれてきた日用品であるが、生活様式や経済構造の変化等より日常生活で使われてる機会が大きく減少し、需要の減少とともに認知度も減少し、全国的に厳しい状況となっている。

一方で、近年では、インバウンド観光客の増加や、「ものづくり」に対する再評価の流れなど、伝統工芸品産業が再注目されており、危機的状況から脱出する大きな好機を迎えている。さらに、伝統工芸品産業関係者においても、現代の生活に合った商品開発や、製作体験等による付加価値の向上、ブランディングによるイメージの向上等、次世代に繋ぐ取組をしているところである。

そこで、県内伝統工芸品の魅力を発信し、伝統工芸品の消費拡大を図るとともに、工芸品産業の未来を考える機会を創出するため、シンポジウムを開催し、県伝統工芸品産業の振興に繋げる。

2 主催

栃木県、(一財) 自治総合センター

3 日程

令和8（2026）年2月21日（土） 午後

4 会場

ライトキューブ宇都宮 中ホール（県で借用）

5 対象

一般県民、伝統工芸品生産者、県内企業等

6 内容（予定）

① ステージイベント（中ホール東側）（事前予約制）

A 基調講演（40分～1時間程度）

○伝統工芸品の製造小売等に取り組む企業等から、その取り組みや理念について講演いただく。

B パネルディスカッション

テーマ：「伝統工芸品を未来に受け継ぐために」

○地域に伝わる伝統工芸品を来場者にPRするとともに、現在その継承や振興に取り組む伝統工芸品産業関係者の取組を紹介する。

○伝統工芸の未来を見据えどのような取組をしているか、今後どのような取組が必要とされるかディスカッションを行う。

C 伝統工芸に関連する任意の取組

○伝統工芸や伝統芸能等に関連する任意のステージイベント

② 伝統工芸品体験等イベント（中ホール西側）（予約不要）

- 県伝統工芸士等による、工芸品の体験・実演・販売・展示ブース
- 出展者との連絡調整は、県、及び（公社）栃木県観光物産協会が行う。
- 1工芸品1ブースとし、12ブース出展の見込み

7 ライトキューブ宇都宮の借用状況等

① 借用状況

	2月20日（金）	2月21日（土）
中ホール全面	18：00～22：00	9：00～18：00
控室301	18：00～22：00	9：00～18：00
控室401	18：00～22：00	9：00～18：00
控室402	18：00～22：00	9：00～18：00
控室403	18：00～22：00	9：00～18：00
小会議室4階401		9：00～18：00
小会議室4階402		9：00～18：00

② 【参考】中ホール分割イメージ

